

【胃の腫瘍】

当院では胃の腫瘍(胃癌や胃粘膜腫瘍・GISTなど)に対して年間70～100例の手術を行っています。ほぼすべての患者さんに「胃の手術を受ける患者さんへ」というクリニカルパスを使用いただいています。このクリニカルパスには入院してから退院するまでの、患者さんが受けられる検査や処置、治療、看護、食事などの標準的なスケジュールを一覧にしてまとめた計画書となっています。胃の手術では、腫瘍の範囲に応じて部分切除術、幽門側胃切除術などの手術が行われますが、同じクリニカルパスを使用しています。手術を受けられてから、次の日には歩行、術後2日目に水分開始、3日目に食事開始となり、5日目には点滴がなくなります。予定では食事を一定量以上食べられ、合併症がないことが確認できたら術後9日目で退院となります。腹腔鏡下手術も同じクリニカルパスを使用していますが、計画よりも早めに退院される患者さんもいらっしゃいます。クリニカルパスはあくまでも標準的なスケジュールですので、病状やもとの持病、合併症によって計画通りに進まないこともあります。その場合は逐一、現在の状態や今後の見通しを説明させていただきます。

消化器外科		胃の手術を受ける患者さんへ										患者さん用
お名前：		主治医：					担当看護師：					
項目	月日	月/日	手術当日(入院2日目)		入院3日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目	入院7日目	入院8日目	入院9日目	退院日
	手術前日	手術前	手術中	手術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目	手術後7日目	手術後8日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ○手術について理解でき、心構えができる ○不安について言葉にすることができる ○入院環境に慣れる 			<ul style="list-style-type: none"> ○痛みなど苦痛な症状がある時に医師・看護師に伝えることができる ○看護師の付き添いで立位と歩行ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○痛みのコントロールができる ○看護士の付き添いで立位と歩行ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○水を飲むことができる ○歩行ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○食事をとることができる ○ダンピング症状とその対処方法を理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ○38度以上の発熱がない ○肺炎、縫合不全の兆候がない ○イレウス症状がない(排ガス・排便がある) 				<ul style="list-style-type: none"> ○退院後の注意事項について理解している
治療・薬剤(点滴・内服)処置・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ○入院時に検温をします ○身長と体重を測定します 	<ul style="list-style-type: none"> ○手術に行く前に検温します ○指示されたお薬のみ指定した時間に内服して下さい ○浴衣に着替えます ○深部静脈血栓症予防目的で、弾性ストッキングを着用、または手術後フットポンプを使用する場合があります 	<ul style="list-style-type: none"> ○点滴が始まります ○背中より痛み止めの管が挿入されます ○お腹に管が挿入される場合があります ○お腹に栄養の管が挿入されることがあります 	<ul style="list-style-type: none"> ○掃室時に検温をします(状況に応じて検温します) ○痛みがある時や眠れない時は点滴を行います ○酸素モニタを装着します ○心電図モニタを装着します ○酸素マスクを装着します ○24時間点滴が続きます 	<ul style="list-style-type: none"> ○状況に応じて2～4回検温をします 			<ul style="list-style-type: none"> ○回診時にお腹の管と、背中の痛み止めの管を抜きます 			<ul style="list-style-type: none"> ○9時～21時まで点滴を行います 	<ul style="list-style-type: none"> ○退院前に検温します
検査	<ul style="list-style-type: none"> ○採血・採尿 			<ul style="list-style-type: none"> ○採血・採尿 ○胸部・腹部レントゲン(ベッド上) 	<ul style="list-style-type: none"> ○採血・採尿 	<ul style="list-style-type: none"> ○採血・採尿 ○胸部・腹部レントゲン 		<ul style="list-style-type: none"> ○採血・採尿 			<ul style="list-style-type: none"> ○採血・採尿 ○胸部・腹部レントゲン 	
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> ○病院内を自由に歩行できます(歩行状態により付き添います) 			<ul style="list-style-type: none"> ○ベッド上安静となります(寝返りの際はお手伝いしますので、ナースコールでお知らせください) ○回復の状態により1人でも病棟内を歩くことができますようになります 	<ul style="list-style-type: none"> ○医師の許可がおりたら看護師の付き添いのもと歩行ができます(歩行の際はナースコールでお知らせ下さい) ○回復の状態により1人でも病棟内を歩くことができますようになります 			<ul style="list-style-type: none"> ○病院内を自由に歩行できます(歩行状態により付き添います) 				
食事	<ul style="list-style-type: none"> ○食べられない物やアレルギーがある方は医師または看護師にお伝えください ○夕食は流動食がです 	<ul style="list-style-type: none"> ○0時以降食事は摂れません ○5時以降の飲水はできません(うがいはできます) 		<ul style="list-style-type: none"> ○絶飲食です 		<ul style="list-style-type: none"> ○医師の許可がおりたら、飲水が可能になります 	<ul style="list-style-type: none"> ○術後3日目の朝食より流動食がです 	<ul style="list-style-type: none"> ○術後5日目の朝食から中粥(やわらかい食)がです。 ○(半分食べられれば十分です) 	<ul style="list-style-type: none"> ○術後7日目の朝食から全粥(ハーフ)がです。 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ○シャワーを浴びてください ○おへそをきれいにします 	<ul style="list-style-type: none"> ○入浴、シャワー浴はできません 		<ul style="list-style-type: none"> ○適宜、または患者さんの希望に沿って看護師が身体を拭きます(洗髪・足浴も可能です) 			<ul style="list-style-type: none"> ○背中への痛み止めの管が抜けましたらシャワーを浴びることができます。 					
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ○寝る前に下剤を1本内服します ○入院中は小さく水をためてください 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝、便を出す座薬を入れます ○手術前に排尿を済ませておいてください 	<ul style="list-style-type: none"> ○お小水の管を挿入されます 	<ul style="list-style-type: none"> ○排便はベッド上で行います 	<ul style="list-style-type: none"> ○歩けるようになったら、トイレで排便できます(状態により看護師が付き添います) 	<ul style="list-style-type: none"> ○お小水の管を抜きます(抜いたあとは、トイレで排尿できます) ※トイレの専用の機械の中にお小水を溜めてください 						
患者さん及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> ○手術・麻酔の承諾書をお渡しください ○内服中のお薬は薬剤師が確認します。内服を継続するか中止するか、看護師がお伝えします 	<ul style="list-style-type: none"> ○手術室へ行く前に指輪・コンタクト・眼鏡・時計・装飾品・入れ歯(ブリッジを含む)・ヘアピンは外してください 	<ul style="list-style-type: none"> ○手術後、医師よりご家族へ手術について説明いたします ○痛みがある時は我慢せずにナースコールでお知らせください。(付き添いの方が来られないなど、やむを得ず貴重品管理ができない場合は看護師にご相談ください。) 	<ul style="list-style-type: none"> ○腸の動きや肺の動きが良くなるために、また血栓症予防のために、頑張って歩行しましょう ○歩き始めは転ぶ危険がありますので、気を付けてください 	<ul style="list-style-type: none"> ○飲水開始後に気分が悪くなった場合、看護師にお知らせください 	<ul style="list-style-type: none"> ○小冊子「胃を切った方の快適な食事と生活のために」をお渡しします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日中は座って過ごしたり、テレビを観て過ごすなどできるだけ、入院前の生活リズムに戻していきましょう ○手術で栄養の管を入れた方は、毎日のケアと使用方法を練習しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ○退院後の注意事項について説明いたします 				

ご質問やご不明な点がありましたら、医師または看護師にお伝えください。予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承下さい。
東邦大学医療センター 大森病院
平成28年12月7日更新